

産物

境ひ、西は淺草川にそへり、

〔東海道名所記〕「れいがん島も、江戸の地を離て、ひがしの海中へつきいだしたる島なり、そのむかひ東の方一町半ばかりの海の中に、うし島新田あり、若宮の八幡のやしろある故に、八幡新田と申すなり、新田の北をば深川といふ、この内にあだけ丸とて、日本一の御舟をつなげたり、深川の北は淺草川のすそなり、

〔續江戸砂子〕「江戸府名産 井近在近國

鹽瀨饅頭 日本ばし通一丁目 鹽瀨山城略中

鹽瀨和巾 茶の湯に用るふくさ也、右山城にあり、むらさきの色、仕立共に

鳥飼饅頭 本町一丁目 鳥飼和泉

猿屋饅頭 淺草こまかた堂 子持眞猿屋

壺屋饅頭 元飯田町 壺屋六兵衛

蘭の梅 井 唐菓子 本町一丁目 鈴木越後

沙糖漬 本店京都 本石町三丁目通り丁 水本河内

丸屋求肥 神田鍛冶町二丁目 丸屋播磨略中

丸山輕燒 淺草誓願寺門前 茗荷屋九兵衛 京都丸山の製を摸す、餅がたくしまり、風味丸山

にかはらす、

米屋白雪糕 神田としま町 米屋七兵衛 小兒乳なきに用之に、その代りをなして育す、蓮肉

を吉これを製すと云、元祿の比までは湯島に住せり、御用地に成り、代地此所にわたりて則住す、

柚餅 かちばしの外 眞猿屋

米饅頭 淺草金龍山の名物也、根元は慶安のころ、此所に鶴屋といふあり、その娘およねといへ